

中国圏広域地方計画の見直しの必要性

中国地方の将来像や戦略等を示した第2次中国圏広域地方計画は、平成28年3月に策定され、令和4年2月に中間評価を実施し、現在、本計画に基づき各関係機関等が将来像の実現に向け施策を推進しているところである。

しかしながら、現行計画の策定後も、中国圏における人口減少は進行し、出生数の低下とそれによる少子高齢化の前倒しが懸念され、将来の不安感が増している。

また、近年の新型コロナウイルス感染症の拡大の結果、デジタルの進展とともに、テレワークの拡大、二地域住居など地方への関心が高まるなど、国民のライフスタイルや価値観の変化が見られる一方で、地球温暖化に伴う自然災害の激甚化やカーボンニュートラルの対応も喫緊の課題となっている。

さらに、アジアの成長と我が国の相対的な地位の低下、テクノロジー、資源等を巡る国際競争の激化、ロシアによるウクライナの侵攻など著しい国際的な環境の変化が我が国の社会経済活動に深刻な影響を与えている。

このような社会情勢が不透明な状況のなか、令和3年9月に国土審議会において、新たな国土形成計画（全国計画）策定に向けて検討が開始され、中国圏においても、様々な課題に即時的に対応するためには、中国圏の将来像を明確にし、実現する戦略を見直すことが必要であることから、新たな中国圏広域地方計画を策定するものである。

中国圏広域地方計画見直しの必要性

中国圏広域地方計画

<H28.3公表>

○中国圏広域地方計画の方向性

『瀬戸内から日本海の多様な個性で対流し、世界に開かれ輝く中国圏』

○中国圏のポテンシャルと課題

1. 中国圏が有するポテンシャル

- ①地理的な優位性
- ②豊かな自然環境
- ③多様な文化と歴史
- ④ものづくり産業の集積

2. 中国圏の課題

- ①著しい人口減少と高齢化の進展
- ②多数の小規模集落と過疎関係市町村
- ③圏域内の利便格差
- ④土砂災害・水害・地震等多発する大災害
- ⑤顕在化するインフラの老朽化

○中国圏の将来像

- 1. 国内外の多様な交流と連携により発展する中国圏
- 2. 産業集積や地域資源を活かし持続的に成長する中国圏
- 3. 豊かな暮らしで人を惹きつける中山間地きや島しょ部を創造する中国圏
- 4. 新たなステージにも対応する安全・安心な中国圏
- 5. 将来像において横断的に持つべき視点

○中国圏の拠点整備の基本戦略とプロジェクト

- 1. 重層的なネットワーク形成と拠点都市の整備による対流促進型圏域づくり
- 2. ものづくり産業の競争力強化、観光振興等経済の活性化
- 3. 中山間地域・島しょ部における人口減対策等地域振興の推進
- 4. 土砂災害・水害対策やインフラ長寿命化による強靱な圏域整備と安全・安心の推進
- 5. 環境と産業・生活が調和した地域づくり
- 6. 将来の発展を担う人材育成

○他圏域と連携して取り組むべき施策

○効果的、効率的な計画の推進

国土の長期展望(最終とりまとめ)

<R3.6公表>

『デジタルを前提とした国土の再構築』

○国土づくりの目標

『真の豊かさ』を実感できる国土

- ①安全・安心 ②自由・多様 ③快適・喜び ④対流・共生

○政策の方向性

1. 地域で安心して暮らし続けることを可能とし、地方への人の流れも生み出す、**多彩な地域生活圏の形成【ローカル】**

→人口10万人前後の圏域を一つの目安に、デジタルとリアルが融合する地域生活圏を維持・強化

- ①デジタル化の推進(手続きや業務のデジタル化、テレワーク推進 等)
- ②リアルの充実

(都市的機能の確保や持続的提供、コンパクト+ネットワークによる効率的な地域づくり 等)

- ③デジタルとリアルを融合し暮らしに実装する取組

(対面と遠隔のベストミックスによる医療、教育等の提供、生活活動と移動・交通のシームレスな連携 等)

2. **国際競争力の向上に向けた産業構造への転換、大都市のリノベーション【グローバル】**

- ①新時代に対応した産業構造の転換

(イノベーションの創出と人材の確保、地域発のグローバル産業の育成 等)

- ②大都市のリノベーション

- ③スーパー・メガリージョンによる新たな価値の創出

3. **情報・交通ネットワークや人と土地・自然・社会のつながりの充実**

- ①デジタル世界の交流の基盤である「**情報通信ネットワーク**」の強化

- ②リアル世界の交流の基盤である「**交通ネットワーク**」の充実

(ローカル・グローバルの各段階における充実、環境・防災・老朽化等への対応)

- ③人口減少に応じた**国土の適正管理**の推進(国土の管理構想)

- ④防災・減災、国土強靱化による「**安全・安心な国土**」の実現

- ⑤「**2050年カーボンニュートラルの実現**」に資する**国土構造**の構築

(エネルギーの地産地消 等)

- ⑥**真の豊かさの実現**に向けた「**共生社会**」の構築

(多様な人材の確保・育成 等)

第2次計画策定後の、我が国の持続可能性を脅かしかねない急激な状況の変化

(1) **新型コロナウイルス感染症の拡大による人類の危機**

(2) これにより、人の交流が困難になったことから、世界的に**デジタル革命が急進展**

(3) さらに、急激な**人口減少(出生数の急低下と、それによる少子高齢化の前倒しが懸念)**

(4) 一方、温暖化等により、風水害を中心とした**自然災害の激甚化・頻発化**

(5) **2050年カーボンニュートラルは世界共通の課題(地球環境問題の切迫)**

中国圏広域地方計画中間評価 <R4.2公表>

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大によって、人々の行動、生活スタイルが大きく変化、産業・物流・医療・観光等の社会経済に対して深刻な影響を踏まえ、多様な選択ができる生活環境の整備、オープンデータ化を伴うDX推進、レジリエントな国土形成に向け、施策を迅速かつ適切に推進することが必要。
- ・外部評価では、人口減少等の社会構造の変化を踏まえた指標の見直しや、豊かさ等が実感できるような指を追加すること、また、新型コロナウイルス感染症の拡大等で社会情勢が不透明な中、即時的な取組を推進する必要があることなど、新たな視点について示唆。

中国圏広域地方計画の見直しに着手